



動物由来感染症って？

動物から人に感染する病気のこと、広い意味では人から動物に感染する病気も含まれます。人も動物も発症するもの、動物は無症状で人だけが発症するものなど、病原体によってさまざまです。

人間をとりまく社会環境(人や物の移動など)、自然環境(土地開発など)やペットの飼育環境の変化などにより、動物由来感染症はより身近なものになってきました。ただし、必要以上に恐れるのではなく、動物の習性や感染する可能性のある病気を知り、予防することが大切です。



小笠原の野生動物などから サルモネラ属菌が見つっています！

保健所の調査で、島内のノヤギ糞便、グリーンアノールとクマネズミからサルモネラ属菌が検出されました。サルモネラ属菌が、小笠原の自然界に広く存在している可能性があります。



【サルモネラ症】

菌に汚染された肉や卵を食べることで、食中毒(胃腸炎症状)を起こすことがあります。保菌動物との接触により感染することもあります。

【サルモネラ症の予防法】

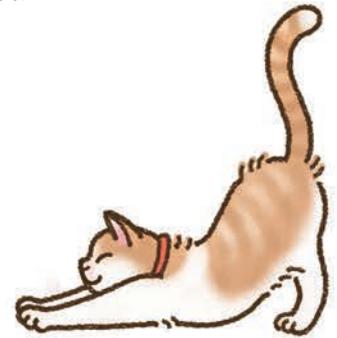
- 野外で遊んだ時や、動物や動物の糞に触った時は、しっかりと手を洗いましょう。
- 家庭菜園や、野外で採取された野菜・果物を食べる前にはよく洗いましょう。

調査時期	検査材料	サルモネラ属菌陽性率
平成17年	ノヤギ糞便(父島)	22% (100検体/454検体)
令和1年	グリーンアノール 肛門スワブ※(父島・母島)	38% (27検体/71検体)
令和1年	クマネズミ 肛門スワブ※(父島)	8% (3検体/36検体)

※綿棒による肛門からの直接採取



ペットとの 付き合い方



● 親しき仲にも節度あり

ペットとのキスや一緒にの布団で寝るなどの過度のふれあいは控えましょう。排泄物は素手で触らないように注意し、片付けた後はしっかりと手を洗いましょう。

● ペットも健康診断を

感染している動物では、はっきりした症状を示さないことがあるため、気づかないうちに飼い主も感染してしまう可能性があります。定期的な健康診断やノミ・ダニ予防、ワクチン接種などを行い、ペットも飼い主も健康に気を配りましょう。

人間が体調不良で医療機関を受診するときは、ペットの飼育状況や野生動物との接触状況も伝えましょう。

